

## 取り組み事業プロフィール

### 1.事業者名

中部食品リサイクルエネルギーシステム研究会

### 2.テーマ名

「食品残さ（生ごみ）を循環資源として活用したエコ発電システムの事業化」



### 3.事業の概要

#### （１）目的

食品リサイクル法の本格実施に伴い、食品工場などから発生する食品残さ（生ゴミ）を循環資源として活用し、従来エネルギーと新エネルギーのベストミックスを図り、「食品リサイクルによるエコ発電システム」の普及と発展に取り組むことを目的とする。

#### （２）活動内容

- ア） 本システムの調査・研究・資料の収集及び技術交流
- イ） 本システムの広報活動
- ウ） 本システムに関する研修会・講習会の開催
- エ） 関係行政庁及び関係機関に対する啓蒙普及活動

#### 4.参加企業・機関等



\* 中部食品リサイクルエネルギーシステム研究会

参加企業名	本研究会での役割	本社住所
小原建設(株)	会長	愛知県岡崎市
大有建設(株)	副会長	愛知県名古屋市
(株)近藤組	会計	愛知県刈谷市
(株)加藤建設	理事	愛知県海部郡蟹江町
木村建設(株)	理事	愛知県碧南市
中村建設(株)	理事	愛知県一宮市
太啓建設(株)	事務局	愛知県豊田市

#### 5.事業の進捗状況等

##### (1) 定期的な技術委員会の開催

研究会の技術委員により、定期的な技術委員会を開催して、以下の事項について調査・研究を実施。

- 「食品リサイクル法」に関する事項。
- 食品リサイクルエネルギーシステムに関する技術的事項。

##### (2) 参加企業の活動報告

技術委員会等を通じて、各社が活動した相手や内容を報告。

参加企業各社は研究会員として、中部地区を中心とした関係行政や食品関連事業者に対して、食品廃棄物処理の現状調査や当システムのPR活動を実施。

##### (3) 活動内容の発表とPR活動

「建設技術フェア in 中部」への出展により、当研究会の活動内容を発表する。

時期：平成16年11月17日～18日

場所：ナゴヤドーム



E-01	食品残渣リサイクルバイオマス発電システム	テーマ: ①
	食品リサイクルを目的とした自己完結型ガス化燃料電池発電ユニット	NET法: 工種分類: 環境対策工
 中部エコ・エネルギーシステム研究会	事務局 TEL: 0565-31-1271 (代表)	開発者: 実証・秋野 URL
<p>食品残渣は堆肥、飼料へのリサイクルが一般的であるが、集荷・運搬の面で今後普及する方法とは言い難い。この装置は食品残渣を電気へリサイクルするものであり、上記問題をクリアーできる装置です。またこのような食品ガス化リサイクル方法は、大型プラントとして事例はあるが、輸送にコストが掛かり効率が悪いケースが多い。当装置は食品残渣の排出先に設置できる小型のものであること、リサイクル生成品である電力をその場で使用できること等のメリットが得られます。</p>		
開発者での施工例 所在地:		自己完結型バイオリサイクルシステム

## 6.課題と対応策

### \* 事業化へむけての取り組み

中部地区を中心に、本システムの販売及びシステム導入に於いて、本格的な事業化へむけて、事業実施の窓口として組織の法人化を今後検討する。

### \* 新しい技術への対応

本システムのみでなく、日々進化する環境技術に対応できる事業体であり続ける為に、新技術の調査・研究を継続的に実施する。